



# I 自然と人口

項目	データ	全国順位
<b>(面積)</b>		
総面積(北方地域及び竹島を含む)	3,798.13km <sup>2</sup>	39
自然公園面積	124,583ha	15
林野面積割合	32.2%	44
総面積1km <sup>2</sup> 当たり人口密度	1,894.2人	4
総面積中の可住地面積割合	67.8%	3
<b>(気候)</b>		
年平均気温	15.6℃	27
降水量(年間)	1,251.0mm	42
快晴日数(年間)	70日	1
<b>(人口)</b>		
人口総数	7,194,556人	5
男	3,608,711人	5
女	3,585,845人	5
外国人	88,734人	5
年少人口割合(0~14歳)	13.3%	26
生産年齢人口割合(15~64歳)	66.3%	3
老年人口割合(65歳以上)	20.4%	43
75歳以上人口割合	8.2%	47
<b>(年齢)</b>		
平均年齢	43.6歳	43
平均寿命(男)	79.62年	23
平均寿命(女)	85.88年	42
<b>(人口変動)</b>		
昼間人口	6,373,489人	5
昼夜間人口比率	88.6	47
他都道府県からの転入者数	157,910人	3
他都道府県への転出者数	146,356人	4
出生数	57,470人	5
合計特殊出生率	1.33	41
死亡数(総数)	60,264人	5
<b>(世帯)</b>		
一般世帯数	2,837,542世帯	5
核家族世帯割合(一般世帯)	62.2%	2
高齢単身世帯割合(一般世帯)	7.2%	43
婚姻率(人口千対)	5.1	12
離婚率(人口千対)	1.84	15
平均初婚年齢(夫)	31.3歳	3
平均初婚年齢(妻)	29.4歳	4

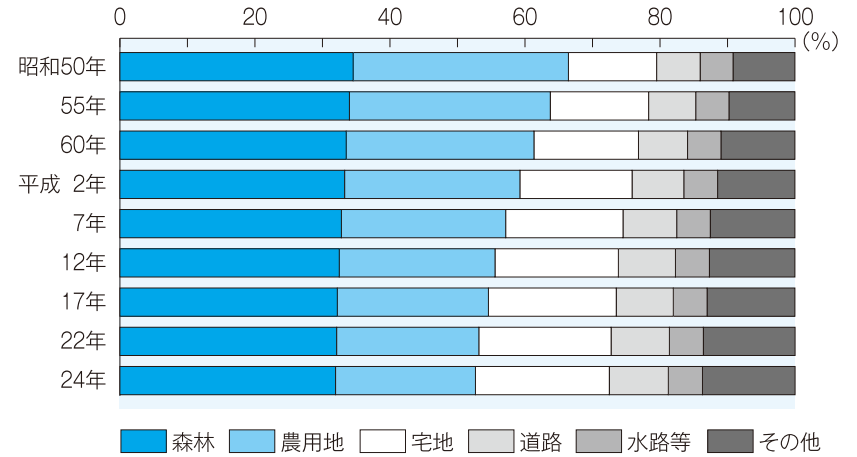
# 1 面積

単 位	* 1 総面積 (北方地域及び竹島を含む)		* 2 総面積1kmあたり 人口密度		* 3 総面積中の 人口集中地区面積割合		* 4 総面積中の 可住地面積割合	
	km <sup>2</sup>	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 950.10		343.4		3.37		32.8	
北海道	83 456.87	1	70.2	47	0.96	43	28.3	30
青森県	9 644.54	8	142.4	41	1.66	34	33.5	22
岩手県	15 278.89	2	87.1	46	0.55	47	24.2	40
宮城県	7 285.76	16	322.3	19	3.33	17	43.2	14
秋田県	11 636.25	6	93.3	45	0.75	45	27.4	33
山形県	9 323.46	9	125.4	42	1.23	42	30.6	28
福島県	13 782.76	3	147.2	39	1.33	39	30.7	27
茨城県	6 095.72	24	487.2	12	3.97	13	65.3	4
栃木県	6 408.28	20	313.3	22	2.95	20	46.5	12
群馬県	6 362.33	21	315.6	21	3.15	19	36.2	17
埼玉県	3 798.13	39	1 894.2	4	18.09	4	67.8	3
千葉県	5 156.70	28	1 205.5	6	12.29	6	68.5	2
東京都	2 187.50	45	6 015.7	1	49.12	1	63.6	5
神奈川県	2 415.86	43	3 745.4	3	39.29	3	60.7	6
新潟県	12 583.81	5	188.7	34	1.85	31	35.8	18
富山県	4 247.61	33	257.4	25	2.47	26	43.6	13
石川県	4 185.66	35	279.5	23	2.55	25	33.2	23
福井県	4 189.83	34	192.4	32	1.87	30	25.6	36
山梨県	4 465.37	32	193.3	31	1.35	38	21.3	44
長野県	13 562.23	4	158.7	38	1.30	40	24.4	39
岐阜県	10 621.17	7	195.9	30	1.68	33	20.7	45
静岡県	7 780.42	13	483.9	13	5.47	11	35.4	20
愛知県	5 165.04	27	1 434.8	5	17.84	5	57.6	7
三重県	5 777.27	25	321.0	20	3.22	18	35.4	20
滋賀県	4 017.36	38	351.2	15	2.68	24	32.3	25
京都府	4 613.21	31	571.4	10	5.71	10	25.5	37
大阪府	1 898.47	46	4 669.7	2	47.76	2	69.4	1
兵庫県	8 396.13	12	665.6	8	6.88	8	33.1	24
奈良県	3 691.09	40	379.5	14	3.88	14	23.1	43
和歌山県	4 726.29	30	212.0	29	1.93	29	23.2	42
鳥取県	3 507.28	41	167.8	37	1.38	37	26.0	35
島根県	6 707.95	19	107.0	44	0.64	46	19.2	46
岡山県	7 113.21	17	273.5	24	2.85	22	31.3	26
広島県	8 479.58	11	337.4	18	3.59	15	27.0	34
山口県	6 113.95	23	237.4	28	3.45	16	28.1	31
徳島県	4 146.67	36	189.4	33	1.28	41	24.7	38
香川県	1 876.53	47	530.7	11	4.16	12	53.4	10
愛媛県	5 678.18	26	252.1	26	2.71	23	29.4	29
高知県	7 105.16	18	107.6	43	0.78	44	16.3	47
福岡県	4 977.24	29	1 019.0	7	11.38	7	55.7	8
佐賀県	2 439.65	42	348.3	16	2.22	27	54.6	9
長崎県	4 105.33	37	347.5	17	2.93	21	39.8	15
熊本県	7 404.73	15	245.4	27	2.10	28	36.9	16
大分県	6 339.71	22	188.7	34	1.81	32	27.5	32
宮崎県	7 735.99	14	146.7	40	1.47	35	23.9	41
鹿児島県	9 188.78	10	185.7	36	1.38	36	35.6	19
沖縄県	2 276.15	44	611.9	9	5.75	9	51.3	11

資料出所  
\* 1～3 「国勢調査」総務省統計局HP  
\* 4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間  
平成22年10月1日  
平成24年10月1日  
調査周期  
5年  
毎年

## 利用形態別土地面積構成比 (各年10月1日現在)



資料：「埼玉の土地」県土地水政策課

### 総面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の本県の総面積は3,798.13km<sup>2</sup>(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は1,894.2人で、前回調査(平成17年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と10の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は18.09%で、全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成24年10月1日現在の可住地面積の割合は、全国平均(32.8%)の約2倍の67.8%で、全国第3位でした。

$$\text{人口集中地区面積割合} = \frac{\text{人口集中地区面積}}{\text{総面積}} \times 100$$

$$\text{可住地面積割合} = \frac{\text{可住地面積}}{\text{北方地域及び竹島を除いた総面積}} \times 100$$

### ～人口集中地区、可住地面積とは～

#### ・人口集中地区

「人口集中地区」は、国勢調査基本単位区または調査区を基礎単位として、  
①人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村域内で互いに隣接し、

②国勢調査時に、隣接地域の人口が5,000人以上を有する当該地域、としています。

昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定され、地方交付税算定基準の1つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画、市街地再開発計画、産業立地計画、交通計画、環境衛生対策、防犯・防災対策、その他各種行政施策、学術研究及び民間市場調査などに広く利用されています。

#### ・可住地面積

「可住地面積」は、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積です。



おしえてコバタン



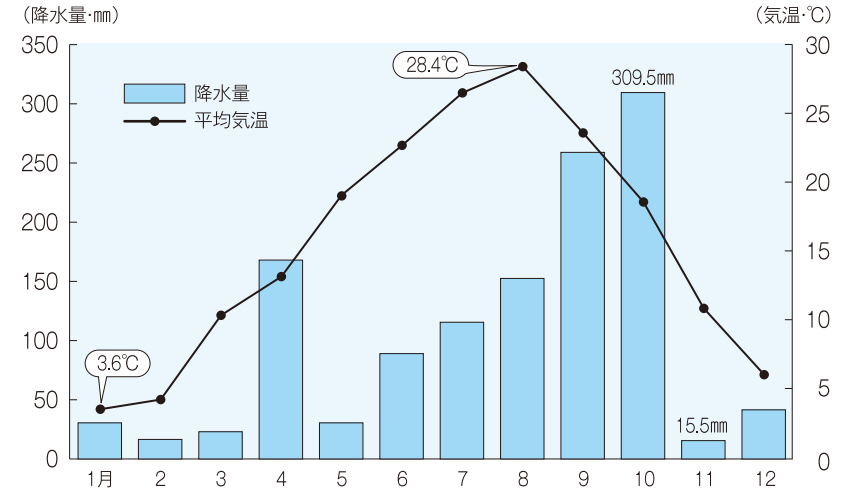
### 3 気象

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	年平均気温		降水量(年間)		日照時間(年間)		快晴日数(年間) 日平均雲量<1.5	
	°C	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	...	...	...	...	...	...	...	...
北海道	9.2	47	1 347.0	37	1 647.9	45	13	41
青森県	10.5	46	1 664.0	22	1 515.5	46	9	45
岩手県	10.6	45	1 643.0	23	1 670.7	43	5	47
宮城県	12.7	41	1 111.5	45	1 879.5	34	15	38
秋田県	11.9	43	2 373.0	4	1 469.4	47	10	44
山形県	11.9	43	1 347.0	37	1 696.0	42	11	43
福島県	13.4	40	1 202.0	43	1 844.3	36	14	40
茨城県	14.3	38	1 338.0	40	2 259.0	14	53	5
栃木県	14.4	37	1 504.5	30	2 127.9	26	46	9
群馬県	15.2	32	998.5	46	2 366.4	4	52	7
埼玉県	15.6	27	1 251.0	42	2 336.2	7	70	1
千葉県	16.0	26	1 673.5	21	2 243.4	18	40	13
東京都	17.1	10	1 614.0	25	2 131.1	24	53	5
神奈川県	16.6	19	1 516.5	27	2 256.7	15	37	16
新潟県	13.8	39	2 327.0	5	1 661.6	44	12	42
富山県	14.5	36	2 862.5	2	1 785.9	40	17	37
石川県	15.0	34	3 318.0	1	1 868.3	35	15	38
福井県	14.9	35	2 725.5	3	1 739.9	41	24	29
山梨県	15.4	29	939.0	47	2 461.5	1	57	4
長野県	12.3	42	1 137.5	44	2 129.8	25	18	36
岐阜県	16.3	24	1 875.5	14	2 315.6	9	47	8
静岡県	17.2	7	1 822.0	15	2 297.6	11	59	2
愛知県	16.4	22	1 463.5	32	2 355.3	6	38	14
三重県	16.5	21	1 393.5	35	2 365.5	5	44	12
滋賀県	15.1	33	1 492.0	31	2 073.4	28	32	20
京都府	16.2	25	1 450.5	33	1 939.8	33	24	29
大阪府	17.1	10	1 418.0	34	2 299.5	10	24	29
兵庫県	17.0	13	1 297.5	41	2 255.4	16	23	33
奈良県	15.3	31	1 505.5	28	2 004.2	32	28	26
和歌山県	17.0	13	1 369.5	36	2 281.9	13	32	20
鳥取県	15.5	28	2 048.0	9	1 842.0	38	20	34
島根県	15.4	29	2 035.0	10	1 842.6	37	19	35
岡山県	16.4	22	1 341.0	39	2 214.3	19	35	17
広島県	16.6	19	1 820.5	16	2 248.8	17	26	27
山口県	17.2	7	1 736.0	19	2 019.6	30	24	29
徳島県	16.8	16	1 949.0	13	2 326.8	8	35	17
香川県	16.8	16	1 537.0	26	2 288.1	12	25	28
愛媛県	16.8	16	1 622.5	24	2 207.5	20	32	20
高知県	17.3	6	2 327.0	5	2 372.9	3	45	11
福岡県	17.7	4	1 801.5	17	2 058.5	29	38	14
佐賀県	17.1	10	2 012.0	11	2 113.1	27	46	9
長崎県	17.5	5	1 683.5	20	2 018.1	31	30	23
熊本県	17.2	7	1 975.0	12	2 196.9	21	30	23
大分県	16.9	15	1 505.5	28	2 185.9	22	29	25
宮崎県	17.9	3	2 079.5	7	2 410.5	2	59	2
鹿児島県	18.9	2	1 777.5	18	2 182.9	23	33	19
沖縄県	23.3	1	2 071.0	8	1 809.0	39	9	45

資料出所  
\*1~4 気象庁HP

調査時点又は期間  
平成25年  
調査周期  
毎年

### 月別降水量・平均気温(平成25年・熊谷)



資料：気象庁HP

#### 夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、冬は北西の季節風が強く晴天の日が多くて乾燥し、夏は日中かなりの高温になり雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。地域別に気温の特徴をみると、北部は、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に熊谷と多治見(岐阜県)で、それまでの国内最高気温40.9℃を観測しました。(平成25年8月12日に高知県の江川崎で41.0℃を観測、国内最高気温が更新されました。)一方、秩父地方の盆地は、冬期に夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低気温を観測しました。

#### 年間快晴日数70日で全国第1位

気象庁によると、平成25年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.6℃高い15.6℃、最高気温は8月10日の39.3℃、最低気温は1月26日の-4.8℃でした。

また、年間降水量は平年値より35.3mm少ない1,251.0mmで、日最大降水量は9月15日の105.0mmでした。日照時間は平年値より294.1時間多い2,336.2時間となり、快晴日数は70日で、前年より14日多く、全国第1位でした。

※表\*1~4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、千葉県は銚子、滋賀県は彦根及び山口県は下関の値としました。

#### ◆冬日、夏日などの日数(熊谷・平成25年)◆

	説 明	日数
冬 日	日最低気温が0度未満の日	48
真冬日	日最高気温が0度未満の日	—
夏 日	日最高気温が25度以上の日	145
真夏日	日最高気温が30度以上の日	70
猛暑日	日最高気温が35度以上の日	23
熱帯夜	夜間(夕方から翌日の朝まで)の最低気温が25度以上の日	10

注)熱帯夜については、日最低気温が25度以上の日数。

資料：気象庁HP

# 4 自然災害

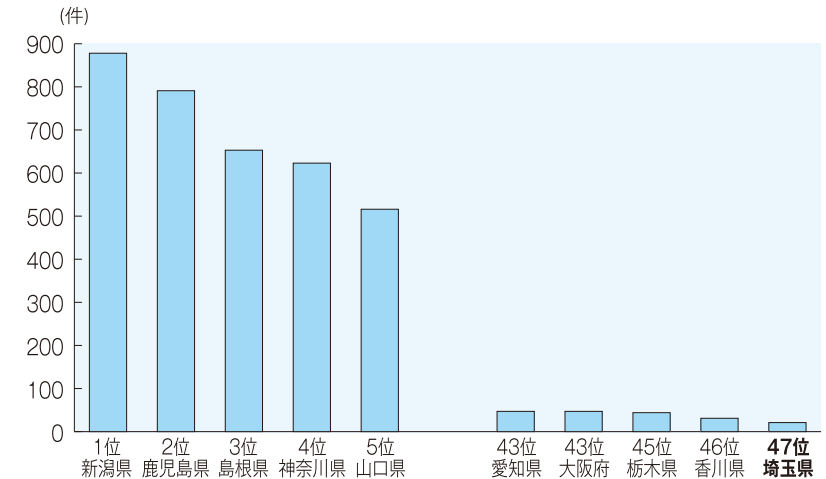
# 土砂災害発生件数 (平成17年～25年の累計)

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	自然災害による被害総額		河川被害発生箇所数		土砂災害発生件数		震度1以上地震観測回数	
	百万円	順位	箇所	順位	件	順位	回	順位
全 国	365 918		8 472		941		2 387	
北海道	12 242	11	273	11	13	23	200	8
青森県	23 026	3	304	9	14	22	173	10
岩手県	41 143	1	593	4	30	8	387	4
宮城県	2 200	33	19	40	2	42	459	3
秋田県	21 475	5	330	7	11	26	85	18
山形県	16 201	10	307	8	46	7	96	15
福島県	8 184	16	213	14	18	16	575	1
茨城県	4 854	19	-	45	12	25	495	2
栃木県	2 349	31	44	33	4	35	289	5
群馬県	3 747	23	43	34	2	42	181	9
埼玉県	481	45	-	45	1	46	157	11
千葉県	10 152	13	142	20	61	3	242	6
東京都	4 624	22	2	44	22	12	225	7
神奈川県	179	47	15	42	55	4	100	14
新潟県	16 307	9	409	6	52	5	90	16
富山県	1 407	39	16	41	28	9	8	46
石川県	3 122	27	123	21	25	11	15	41
福井県	3 176	25	150	19	19	15	17	37
山梨県	1 821	36	25	38	3	38	57	21
長野県	19 175	7	262	12	17	18	107	13
岐阜県	2 459	30	102	23	11	26	40	25
静岡県	4 638	21	49	31	26	10	90	16
愛知県	1 217	42	50	30	2	42	24	31
三重県	7 853	17	37	36	16	19	14	42
滋賀県	26 865	2	180	18	21	13	22	33
京都府	18 369	8	908	2	9	29	29	27
大阪府	1 296	41	34	37	8	30	25	29
兵庫県	8 670	15	682	3	3	38	42	24
奈良県	4 745	20	186	16	5	33	23	32
和歌山県	9 088	14	220	13	10	28	72	20
鳥取県	2 616	29	45	32	6	31	9	45
島根県	22 842	4	998	1	119	1	22	33
岡山県	5 420	18	304	9	18	16	10	44
広島県	3 137	26	188	15	15	21	25	29
山口県	20 211	6	438	5	109	2	16	39
徳島県	719	44	21	39	4	35	33	26
香川県	976	43	60	26	6	31	16	39
愛媛県	2 229	32	115	22	16	19	22	33
高知県	2 727	28	182	17	21	13	21	36
福岡県	2 130	34	93	24	1	46	17	37
佐賀県	423	46	12	43	3	38	6	47
長崎県	3 255	24	41	35	5	33	12	43
熊本県	1 664	38	91	25	3	38	43	23
大分県	1 814	37	51	29	4	35	26	28
宮崎県	2 087	35	55	28	13	23	46	22
鹿児島県	11 200	12	60	26	50	6	117	12
沖縄県	1 379	40	-	45	2	42	73	19

資料出所  
 \* 1,2 「消防白書」消防庁HP  
 \* 3 「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP  
 \* 4 「地震・火山月報 (防災編)」気象庁HP

調査時点又は期間  
 平成25年  
 平成25年  
 平成25年

調査周期  
 毎年  
 毎年  
 毎年



資料：「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP

### 3年連続、河川被害発生箇所がゼロ

「消防白書」によると、平成25年の自然災害による被害総額は神奈川県、佐賀県に次いで少ない4億8,171万円で、全国第45位でした。

また、3年連続で河川被害発生箇所がありませんでした。

「近年の都道府県別土砂災害発生状況」によると、平成25年に発生した土砂災害は1件でした。なお、平成17年以降の土砂災害発生件数は21件で、全国最少となっています。

### 県内で震度1以上の地震観測回数は2年前の5分の1以下

「地震・火山月報 (防災編)」によると、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」が発生した平成23年は、本県の観測点で観測した震度1以上の地震が897回ありましたが、平成25年は157回で5分の1以下になっています。なお、最大の震度は震度4でした。

気象庁によると、平成25年に発生した台風の数31個 (平年は25.6個) でした。そのうち、日本に上陸した台風は2個 (平年は2.7個) でした。また、9月中旬に上陸した台風18号の影響により福井県、滋賀県、京都府で、10月中旬に接近した台風26号の影響により大島 (東京都) で記録的な豪雨となりました。

※表\*3及び文中の土砂災害は、土石流、地すべり並びにがけ崩れの件数の合計です。

### ～平成26年は大雪による被害が発生～

2月14日から15日にかけて、低気圧の接近・通過と上空の寒気の影響により、関東甲信地方を中心に雪が降り続き、埼玉県では最深積雪の極値を大幅に更新する記録的な大雪となりました。前週 (2月8日から9日) に引き続きの大雪で、最深積雪は、熊谷で62cm、秩父で98cmとなりました。

この大雪の影響で、落雪、転倒などによる人的被害や停電が発生したほか、鉄道の運休、高速道路や一般道路の通行止めなど交通機関にも大きな影響をおよぼしました。

#### ・被害状況

- 人的被害 死亡：3人、重症：28人、中等症：135人、軽症：296人
- 住家被害 半壊：1件、一部損壊：9件
- 農業被害 被害額合計：229億円

資料：熊谷地方気象台HP、県大雪庁内検証委員会



おしえてコバタン

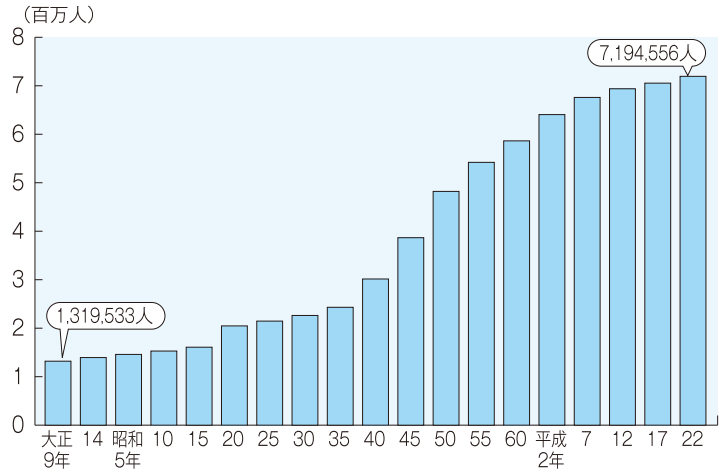
# 5 総人口

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	人口総数	順位	男	女	男	女	外国人	順位
	人		人	人	人	人	人	
全 国	128 057 352		62 327 737	65 729 615		1 648 037		
北海道	5 506 419	8	2 603 345	2 903 074	8	18 280	20	
青森県	1 373 339	31	646 141	727 198	29	3 688	43	
岩手県	1 330 147	32	634 971	695 176	32	5 184	38	
宮城県	2 348 165	15	1 139 566	1 208 599	15	12 367	22	
秋田県	1 085 997	38	509 926	576 071	37	3 356	46	
山形県	1 168 924	35	560 643	608 281	34	6 158	36	
福島県	2 029 064	18	984 682	1 044 382	18	9 347	28	
茨城県	2 969 770	11	1 479 779	1 489 991	11	40 477	10	
栃木県	2 007 683	20	996 855	1 010 828	21	26 429	17	
群馬県	2 008 068	19	988 019	1 020 049	19	35 458	13	
埼玉県	7 194 556	5	3 608 711	3 585 845	5	88 734	5	
千葉県	6 216 289	6	3 098 139	3 118 150	6	78 927	7	
東京都	13 159 388	1	6 512 110	6 647 278	1	318 829	1	
神奈川県	9 048 331	2	4 544 545	4 503 786	3	125 686	4	
新潟県	2 374 450	14	1 148 236	1 226 214	14	11 914	24	
富山県	1 093 247	37	526 605	566 642	37	11 002	25	
石川県	1 169 788	34	564 972	604 816	35	9 768	27	
福井県	806 314	43	389 712	416 602	43	10 562	26	
山梨県	863 075	41	422 526	440 549	42	12 484	21	
長野県	2 152 449	16	1 046 178	1 106 271	16	29 841	16	
岐阜県	2 080 773	17	1 006 247	1 074 526	17	36 879	12	
静岡県	3 765 007	10	1 853 952	1 911 055	10	61 610	8	
愛知県	7 410 719	4	3 704 220	3 706 499	4	160 228	3	
三重県	1 854 724	22	903 398	951 326	23	32 825	14	
滋賀県	1 410 777	28	696 769	714 008	30	21 537	18	
京都府	2 636 092	13	1 265 387	1 370 705	13	41 855	9	
大阪府	8 865 245	3	4 285 566	4 579 679	2	164 704	2	
兵庫県	5 588 133	7	2 673 328	2 914 805	7	79 040	6	
奈良県	1 400 728	29	663 321	737 407	28	9 255	29	
和歌山県	1 002 198	39	471 397	530 801	39	4 837	39	
鳥取県	588 667	47	280 701	307 966	47	3 596	44	
島根県	717 397	46	342 991	374 406	46	4 779	40	
岡山県	1 945 276	21	933 168	1 012 108	20	18 476	19	
広島県	2 860 750	12	1 380 671	1 480 079	12	31 882	15	
山口県	1 451 338	25	684 176	767 162	25	12 292	23	
徳島県	785 491	44	372 710	412 781	44	4 076	41	
香川県	995 842	40	479 951	515 891	40	6 858	34	
愛媛県	1 431 493	26	673 326	758 167	27	7 828	31	
高知県	764 456	45	359 134	405 322	45	3 172	47	
福岡県	5 071 968	9	2 393 965	2 678 003	9	40 317	11	
佐賀県	849 788	42	400 136	449 652	41	3 594	45	
長崎県	1 426 779	27	665 899	760 880	26	6 498	35	
熊本県	1 817 426	23	853 514	963 912	22	7 624	30	
大分県	1 196 529	33	564 890	631 639	33	8 841	30	
宮崎県	1 135 233	36	533 035	602 198	36	3 802	42	
鹿児島県	1 706 242	24	796 896	909 346	24	5 490	37	
沖縄県	1 392 818	30	683 328	709 490	31	7 651	32	

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

# 人口の推移 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局

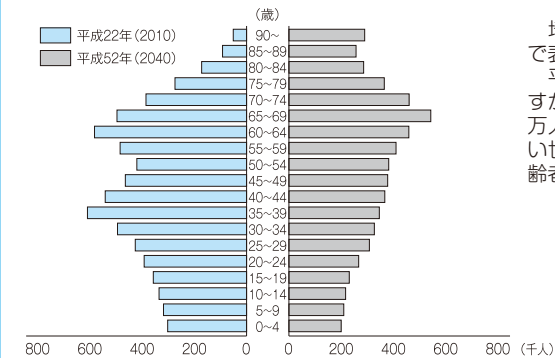
## 人口増加率は2.0%

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の人口は、前回調査(平成17年)より140,313人増加し、7,194,556人(男性3,608,711人、女性3,585,845人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いており、増加率は過去最低だった前回調査を上回る2.0%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が100.9、次いで本県が100.64と2県で男性人口が女性人口を上回っています。

## 県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は88,734人で、前回調査に比べて8,699人(10.9%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.1ポイント上昇して1.23%でした。

## ~どうなる？埼玉県の将来推計人口~



埼玉県の将来推計人口をグラフで表しました。  
平成22年の総人口は719万人ですが、30年後の平成52年には630万人に減少しています。また、若い世代の人口が減少する一方、高齢者の人口が増加しています。

資料:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所HP



おしえてコタン

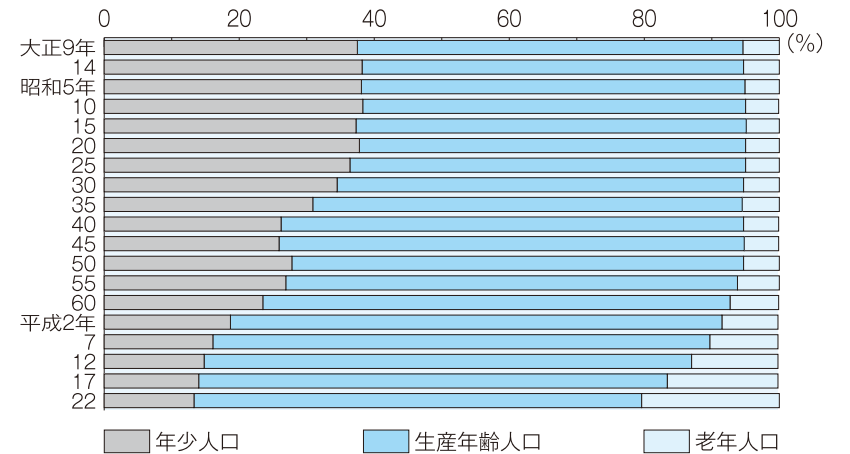
# 6 人口(年齢3区分別)

単 位	* 1 年少人口割合 (0~14歳)		* 2 生産年齢人口割合 (15~64歳)		* 3 老年人口割合 (65歳以上)		* 4 75歳以上 人口割合	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	13.2		63.8		23.0		11.1	
北海道	12.0	45	63.3	14	24.7	24	12.2	26
青森県	12.6	42	61.7	24	25.8	18	13.1	23
岩手県	12.7	40	60.1	39	27.2	7	14.5	9
宮城県	13.2	28	64.4	7	22.3	38	11.4	33
秋田県	11.4	46	59.0	46	29.6	1	16.1	2
山形県	12.8	38	59.6	43	27.6	5	15.4	4
福島県	13.7	15	61.3	25	25.0	23	13.5	19
茨城県	13.5	22	64.0	12	22.5	36	10.7	39
栃木県	13.6	21	64.4	8	22.0	40	10.8	37
群馬県	13.8	9	62.7	17	23.6	33	11.7	31
埼玉県	13.3	26	66.3	3	20.4	43	8.2	47
千葉県	13.0	32	65.4	4	21.5	41	9.0	43
東京都	11.4	47	68.2	1	20.4	44	9.4	42
神奈川県	13.2	30	66.6	2	20.2	46	8.8	45
新潟県	12.8	39	61.0	27	26.3	14	14.1	12
富山県	13.0	33	60.8	29	26.2	15	13.5	20
石川県	13.7	14	62.6	18	23.7	32	12.1	27
福井県	14.0	5	60.8	30	25.2	21	13.5	21
山梨県	13.4	23	61.9	22	24.6	25	12.8	25
長野県	13.8	10	59.7	42	26.5	11	14.2	11
岐阜県	14.0	7	61.9	23	24.1	28	11.8	30
静岡県	13.7	17	62.5	19	23.8	31	11.5	32
愛知県	14.5	4	65.2	5	20.3	45	8.9	44
三重県	13.7	11	62.0	21	24.3	27	12.0	28
滋賀県	15.1	2	64.2	10	20.7	42	10.0	40
京都府	12.9	36	63.8	13	23.4	34	11.0	35
大阪府	13.3	27	64.4	9	22.4	37	9.5	41
兵庫県	13.7	18	63.3	15	23.1	35	10.8	38
奈良県	13.2	29	62.8	16	24.0	29	11.1	34
和歌山県	12.9	37	59.9	40	27.3	6	14.0	16
鳥取県	13.4	25	60.3	36	26.3	13	14.6	7
島根県	12.9	35	58.0	47	29.1	2	16.6	1
岡山県	13.7	12	61.1	26	25.1	22	13.0	24
広島県	13.7	16	62.4	20	23.9	30	11.9	29
山口県	12.7	41	59.3	44	28.0	4	14.6	8
徳島県	12.4	43	60.6	32	27.0	8	14.7	6
香川県	13.4	24	60.7	31	25.8	17	13.7	18
愛媛県	13.0	34	60.4	35	26.6	10	14.1	13
高知県	12.2	44	59.0	45	28.8	3	15.9	3
福岡県	13.6	20	64.1	11	22.3	39	11.0	36
佐賀県	14.6	3	60.8	28	24.6	26	13.3	22
長崎県	13.6	19	60.4	34	26.0	16	14.0	15
熊本県	13.8	8	60.5	33	25.6	20	14.1	14
大分県	13.1	31	60.3	37	26.6	9	14.2	10
宮崎県	14.0	6	60.2	38	25.8	19	13.9	17
鹿児島県	13.7	13	59.8	41	26.5	12	14.8	5
沖縄県	17.8	1	64.8	6	17.4	47	8.7	46

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

## 年齢3区分別人口構成比 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

### 低下する年少人口割合、上昇する老年人口割合

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢3区分別の人口が総人口に占める割合は、年少人口割合が前回調査(平成17年)に比べ0.7ポイント低下し、大正9年の第1回調査以来最も低い13.3%(953,668人)でした。

生産年齢人口割合は、前回調査に比べ3.2ポイント低下し、66.3%(4,749,108人)で、東京都、神奈川県に次いで全国第3位となりました。

老年人口割合は、前回調査に比べ4.0ポイント上昇し、20.4%(1,464,860人)で、大正9年の第1回調査以来初めて20%を超え、前回調査は全国第46位でしたが、今回は全国第43位に上昇しました。また、4.0ポイントの上昇は全国で最高でした。

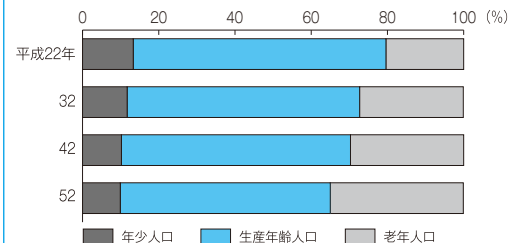
### 全国で最も低い75歳以上人口の割合

75歳以上の人口が総人口に占める割合は、前回調査に比べ1.9ポイント上昇し、8.2%(586,882人)となりましたが、全国第47位で最も低い割合でした。

※平成22年国勢調査から、年齢区分別人口割合の算出にあたっては、「不詳」数を分母に含めない方法に変更になりました。

※グラフの各構成比は、平成12年以前は「不詳」数を分母に含めた方法により、平成17年と平成22年は「不詳」数を分母に含めない方法により算出しています。

### ~年齢3区分別人口構成比の将来推計~



年齢3区分別人口構成比を平成22年と国立社会保障・人口問題研究所による30年後の平成52年の将来推計人口と比べてみると、年少人口割合が13.3%から9.9%に、生産年齢人口割合が66.3%から55.1%にそれぞれ減少する一方、老年人口割合は20.4%から34.9%に増加しています。

資料:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所HP



# 7 年齢

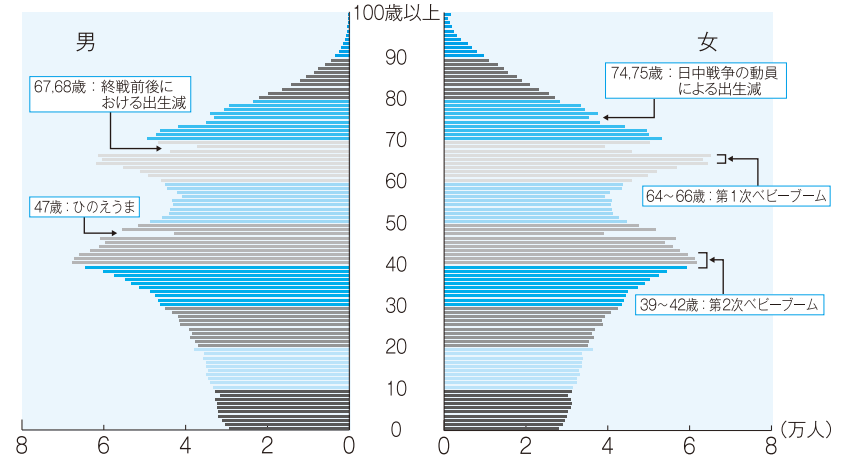
単 位	* 1 平均年齢		* 2 平均寿命(男)		* 3 平均寿命(女)		* 4 年齢100歳以上の人口	
	歳	順位	年	順位	年	順位	人	順位
全 国	45.0		79.59		86.35		43 882	
北海道	46.5	19	79.17	34	86.30	25	1 996	5
青森県	47.0	11	77.28	47	85.34	47	374	45
岩手県	47.4	7	78.53	45	85.86	43	501	35
宮城県	44.6	38	79.65	22	86.39	23	675	25
秋田県	49.3	1	78.22	46	85.93	39	405	42
山形県	47.6	5	79.97	9	86.28	28	477	38
福島県	46.1	22	78.84	44	86.05	38	685	24
茨城県	44.9	34	79.09	36	85.83	44	814	19
栃木県	44.8	37	79.06	38	85.66	46	516	31
群馬県	45.3	30	79.40	29	85.91	41	708	22
埼玉県	43.6	43	79.62	23	85.88	42	1 396	9
千葉県	44.3	40	79.88	13	86.20	34	1 431	8
東京都	43.8	42	79.82	14	86.39	22	3 744	1
神奈川県	43.4	44	80.25	5	86.63	15	2 269	3
新潟県	47.0	10	79.47	27	86.96	5	1 105	13
富山県	46.9	13	79.71	19	86.75	10	554	29
石川県	45.3	31	79.71	18	86.75	11	503	33
福井県	46.0	23	80.47	3	86.94	7	341	46
山梨県	45.8	24	79.54	25	86.65	13	392	43
長野県	46.6	18	80.88	1	87.18	1	1 000	14
岐阜県	45.3	33	79.92	11	86.26	29	658	26
静岡県	45.4	27	79.95	10	86.22	32	1 198	11
愛知県	42.9	46	79.71	17	86.22	31	1 574	7
三重県	45.4	28	79.68	21	86.25	30	605	27
滋賀県	43.1	45	80.58	2	86.69	12	432	41
京都府	44.8	36	80.21	6	86.65	14	1 137	12
大阪府	44.3	41	78.99	41	85.93	40	2 365	2
兵庫県	44.9	35	79.59	24	86.14	35	1 918	6
奈良県	45.4	29	80.14	7	86.60	17	503	33
和歌山県	47.3	8	79.07	37	85.69	45	433	40
鳥取県	46.9	14	79.01	40	86.08	36	334	47
島根県	48.4	3	79.51	26	87.07	2	515	32
岡山県	45.7	25	79.77	15	86.93	8	980	16
広島県	45.3	32	79.91	12	86.94	6	1 395	10
山口県	47.7	4	79.03	39	86.07	37	806	20
徳島県	47.6	6	79.44	28	86.21	33	377	44
香川県	46.7	17	79.73	16	86.34	24	482	37
愛媛県	47.1	9	79.13	35	86.54	19	720	21
高知県	48.4	2	78.91	42	86.47	21	486	36
福岡県	44.5	39	79.30	31	86.48	20	2 006	4
佐賀県	45.6	26	79.28	32	86.58	18	441	39
長崎県	46.8	16	78.88	43	86.30	26	700	23
熊本県	46.2	21	80.29	4	86.98	4	972	17
大分県	46.9	12	80.06	8	86.91	9	536	30
宮崎県	46.5	20	79.70	20	86.61	16	566	28
鹿児島県	46.8	15	79.21	33	86.28	27	985	15
沖縄県	40.7	47	79.40	30	87.02	3	872	18

資料出所  
 \* 1.4 「国勢調査」総務省統計局HP  
 \* 2.3 「都道府県別生命表」厚生労働省HP

調査時点又は期間  
 平成22年10月1日  
 平成22年

調査周期  
 5年  
 5年

# 埼玉県の人口ピラミッド (平成26年1月1日現在)



資料: 「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課

## 全国で5番目に若い県

「国勢調査」によると、平均年齢は、前回調査(平成17年)では全国で4番目に若い41.8歳でしたが、平成22年10月1日現在、1.8歳上昇して43.6歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県、神奈川県に続いて5番目に若い県となりました。

## 年齢100歳以上人口は20年前の25倍に増加

「都道府県別生命表」によると、平成22年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が79.62年、女性が85.88年で、40年前(昭和45年)より男性は10.24年、女性は11.26年上昇しました。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢100歳以上の人口は1,396人で、20年前(55人年)の約25倍に増加しました。

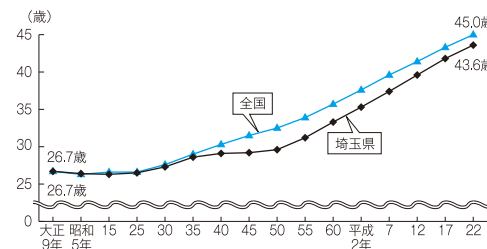
## 40歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成26年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、40歳代が1,140,759人で総数の15.7%を占め最も多く、次いで60歳代が1,045,420人で同14.3%、30歳代が1,019,135人で同14.0%と続いています。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{各歳別人口の合計}} + 0.5$$

※表\*2.3の順位は、厚生労働省公表の順位です。

## ~平均年齢の推移~



大正9年の本県の平均年齢は26.7歳で全国平均と同じでしたが、その後全国平均を下回るようになり、平成22年には43.6歳と全国平均より1.4歳低くなっています。

資料: 「国勢調査」総務省統計局





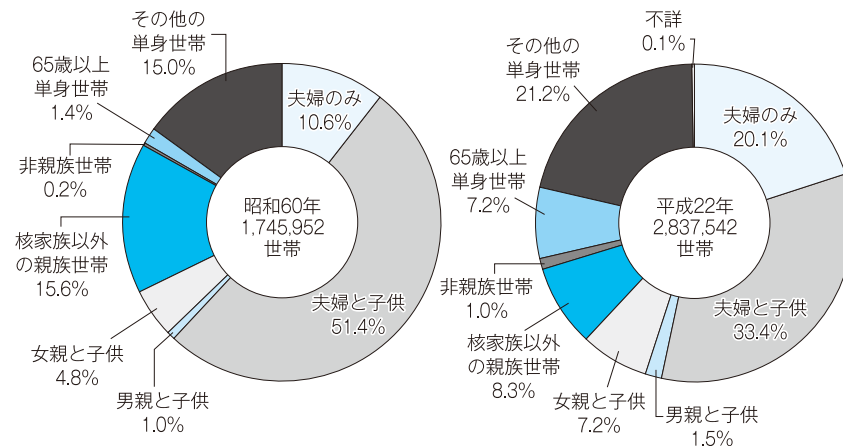
# 8 世帯

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	一般世帯数		1世帯当たり人員 (一般世帯)		核家族世帯割合 (一般世帯)		高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	51 842 307		2.42		56.3		9.2	
北海道	2 418 305	7	2.21	46	57.5	21	10.8	10
青森県	511 427	31	2.61	20	53.7	37	9.9	18
岩手県	482 845	32	2.69	11	51.1	45	9.0	24
宮城県	900 352	14	2.56	25	52.4	39	7.0	45
秋田県	389 095	38	2.71	8	52.1	43	10.1	14
山形県	387 682	39	2.94	1	48.3	46	7.7	39
福島県	719 441	22	2.76	7	52.5	38	8.3	31
茨城県	1 086 715	13	2.68	12	57.7	16	6.9	46
栃木県	744 193	19	2.65	15	55.6	30	7.1	44
群馬県	754 324	17	2.61	19	59.4	9	8.3	30
埼玉県	2 837 542	5	2.50	28	62.2	2	7.2	43
千葉県	2 512 441	6	2.44	34	59.5	8	7.6	40
東京都	6 382 049	1	2.03	47	48.2	47	9.8	21
神奈川県	3 830 111	2	2.33	41	59.3	10	8.1	34
新潟県	837 387	15	2.77	6	52.2	40	7.8	38
富山県	382 431	40	2.79	4	53.9	36	8.2	33
石川県	440 247	35	2.58	22	54.2	35	8.2	32
福井県	274 818	45	2.86	2	52.1	42	7.8	37
山梨県	327 075	41	2.58	23	57.7	17	9.0	26
長野県	792 831	16	2.66	13	56.7	25	8.7	29
岐阜県	735 702	20	2.78	5	57.4	22	7.8	35
静岡県	1 397 173	10	2.65	16	56.4	26	7.6	41
愛知県	2 929 943	4	2.49	30	57.5	20	7.4	42
三重県	703 237	23	2.59	21	58.7	12	8.9	27
滋賀県	517 049	30	2.69	10	57.7	19	6.6	47
京都府	1 120 440	12	2.31	42	55.2	34	9.9	19
大阪府	3 823 279	3	2.28	44	57.2	23	11.3	8
兵庫県	2 252 522	8	2.44	33	60.5	4	10.6	12
奈良県	522 600	28	2.63	17	64.0	1	9.0	25
和歌山県	392 842	36	2.50	29	60.1	7	12.8	3
鳥取県	211 396	47	2.71	9	52.1	41	9.2	23
島根県	260 921	46	2.66	14	51.5	44	10.5	13
岡山県	752 878	18	2.52	26	56.4	27	9.5	22
広島県	1 183 036	11	2.36	38	57.9	15	10.1	15
山口県	596 231	25	2.36	39	58.8	11	12.6	4
徳島県	301 546	43	2.52	27	55.4	31	10.7	11
香川県	389 652	37	2.49	31	57.7	18	9.8	20
愛媛県	589 676	26	2.37	37	58.6	13	11.8	5
高知県	321 004	42	2.30	43	55.8	28	13.9	2
福岡県	2 106 654	9	2.35	40	55.2	33	10.0	17
佐賀県	294 120	44	2.80	3	55.3	32	8.8	28
長崎県	556 895	27	2.47	32	58.2	14	11.4	7
熊本県	686 123	24	2.57	24	55.7	29	10.1	16
大分県	480 443	33	2.41	35	56.8	24	11.1	9
宮崎県	459 177	34	2.40	36	60.1	5	11.6	6
鹿児島県	727 273	21	2.27	45	60.1	6	14.1	1
沖縄県	519 184	29	2.63	18	60.5	3	7.8	36

資料出所 \*1~4 「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成22年10月1日 調査周期 5年

## 埼玉県の家族類型別一般世帯構成比



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

### 増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の総世帯数は2,841,595世帯で、そのうち一般世帯数は2,837,542世帯、施設等の世帯数は4,053世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成17年)と比べると206,919世帯(7.9%)増加しました。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.50人で、全国平均(2.42人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯当たり人員は、前回調査(平成17年)と比べるとすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

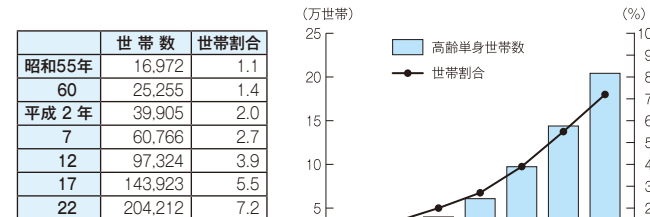
### 核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,763,958世帯で一般世帯の62.2%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は569,701世帯(一般世帯の20.1%)、夫婦と子供から成る世帯は947,579世帯(同33.4%)でした。

高齢(65歳以上)単身世帯は、前回調査より60,289世帯(41.9%)増加して204,212世帯で、一般世帯に占める割合は7.2%でした。

### ～高齢単身世帯数(割合)の推移～

「国勢調査」によると、県内の高齢(65歳以上)単身世帯数は、昭和55年には16,972世帯(一般世帯に占める割合1.1%)でしたが、平成22年には204,212世帯(同7.2%)に達し、30年間で約12倍に増加しました。



資料：「国勢調査」総務省統計局HP



おしえてコバン

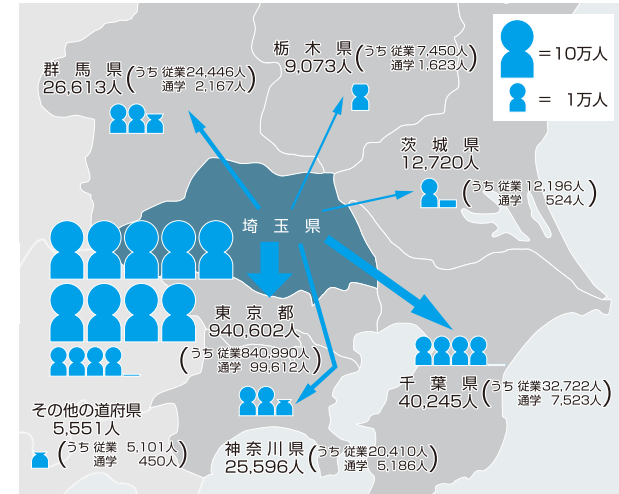
# 9 昼間人口

単 位	* 1 昼間人口		* 2 昼夜間人口比率		* 3 流入人口		* 4 流出人口	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	128 057 352		100.0		5 511 606		5 511 606	
北海道	5 504 418	7	100.0	19	2 728	44	4 740	43
青森県	1 374 008	29	100.0	13	5 622	40	4 967	42
岩手県	1 326 160	31	99.7	32	7 428	32	11 390	27
宮城県	2 351 980	15	100.2	9	19 369	21	15 593	26
秋田県	1 084 598	38	99.9	24	1 901	45	3 297	45
山形県	1 166 872	35	99.8	28	4 354	42	6 401	38
福島県	2 021 216	17	99.6	33	10 782	25	18 616	24
茨城県	2 886 651	11	97.2	40	75 673	9	159 224	8
栃木県	1 990 152	20	99.1	36	54 677	12	72 344	13
群馬県	2 005 137	18	99.9	27	55 338	11	58 261	16
埼玉県	6 373 489	5	88.6	47	246 144	4	1 060 400	2
千葉県	5 560 489	6	89.5	46	180 644	7	833 129	3
東京都	15 576 130	1	118.4	1	2 866 367	1	466 534	4
神奈川県	8 254 193	3	91.2	44	300 333	3	1 087 143	1
新潟県	2 374 633	14	100.0	17	4 878	41	4 695	44
富山県	1 091 323	37	99.8	29	6 362	38	8 287	32
石川県	1 172 269	34	100.2	7	10 602	26	8 133	33
福井県	806 735	43	100.1	12	6 206	39	5 788	39
山梨県	854 854	41	99.0	37	9 254	28	17 478	25
長野県	2 149 477	16	99.9	25	7 348	33	10 270	28
岐阜県	1 997 546	19	96.0	42	43 934	14	126 837	10
静岡県	3 759 757	10	99.9	26	31 728	17	37 028	17
愛知県	7 520 876	4	101.5	3	186 550	5	76 646	12
三重県	1 820 180	22	98.1	38	28 713	19	63 168	14
滋賀県	1 363 302	30	96.6	41	43 002	15	89 790	11
京都府	2 668 371	13	101.2	4	184 794	6	154 075	9
大阪府	9 280 560	2	104.7	2	668 317	2	251 710	6
兵庫県	5 347 839	8	95.7	43	133 309	8	371 973	5
奈良県	1 259 517	32	89.9	45	53 360	13	195 872	7
和歌山県	982 982	40	98.1	39	16 981	22	36 758	18
鳥取県	588 523	47	100.0	18	7 682	31	7 837	35
島根県	717 522	46	100.0	16	8 194	30	8 066	34
岡山県	1 943 176	21	99.9	21	19 547	20	21 963	21
広島県	2 868 553	12	100.3	5	30 035	18	22 213	20
山口県	1 444 127	25	99.5	35	12 976	23	20 011	22
徳島県	783 270	44	99.7	31	3 541	43	5 786	40
香川県	997 863	39	100.2	8	9 014	29	7 011	36
愛媛県	1 433 252	26	100.1	10	7 254	34	5 512	41
高知県	763 479	45	99.9	23	1 795	46	2 731	46
福岡県	5 078 054	9	100.1	11	65 238	10	59 252	15
佐賀県	851 631	42	100.2	6	36 553	16	34 842	19
長崎県	1 423 274	27	99.8	30	6 492	37	9 991	29
熊本県	1 809 829	23	99.6	34	11 317	24	18 861	23
大分県	1 196 808	33	100.0	15	10 023	27	9 706	30
宮崎県	1 135 601	36	100.0	14	7 205	36	6 848	37
鹿児島県	1 704 396	24	99.9	22	7 252	35	9 104	31
沖縄県	1 392 280	28	100.0	20	790	47	1 325	47

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成22年10月1日 調査周期 5年

# 県外に就業・通学する就業者及び通学者数 (平成22年10月1日現在)



注)15歳以上。年齢不詳者を除く。  
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

## 県外への就業・通学者数は全国第2位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成17年)より214,525人(3.5%)増加して6,373,489人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,194,556人でした。昼夜間人口比率は88.6で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,879,297人で、そのうち県外へ就業・通学している者(流出人口)は1,060,400人で、全国第2位でした。

県外への就業・通学者は、東京都への940,602人が最多でしたが、前回調査(平成17年)より61,577人減少しました。次いで千葉県への40,245人、群馬県への26,613人の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県で就業・通学している者(流入人口)は246,144人で、全国第4位でした。

県外からの就業・通学者は、東京都からの136,130人が最も多く、次いで千葉県からの38,557人、群馬県からの25,902人の順でした。

**常住人口** 調査時に普段住んでいる場所における人口

**昼間人口** 昼間活動している場所における人口のことで、常住人口から就業・通学(15歳未満通学者を含む。)による流出人口及び流入人口を加減した人口

## ~市町村の昼夜間人口比率~

順位	昼夜間人口比率が低い(流出超過)	順位	昼夜間人口比率が高い(流入超過)
1	富士見市 72.4	1	三芳町 113.1
2	鳩ヶ谷市(現川口市の一部) 75.6	2	嵐山町 104.5
3	東秩父村 76.4	3	美里町 100.8
4	白岡町(現白岡市) 77.0	4	本庄市 100.8
5	松伏町 78.2	5	滑川町 100.4

資料:平成22年国勢調査

昼夜間人口比率とは、当該市町村常住人口100人当たりの昼間人口の割合をいいます。

昼夜間人口比率が100未満であれば、昼間の就業・通学者等の流出が流入を上回っており(流出超過)、100を超えていれば、流入が流出を上回っている(流入超過)ことを表しています。

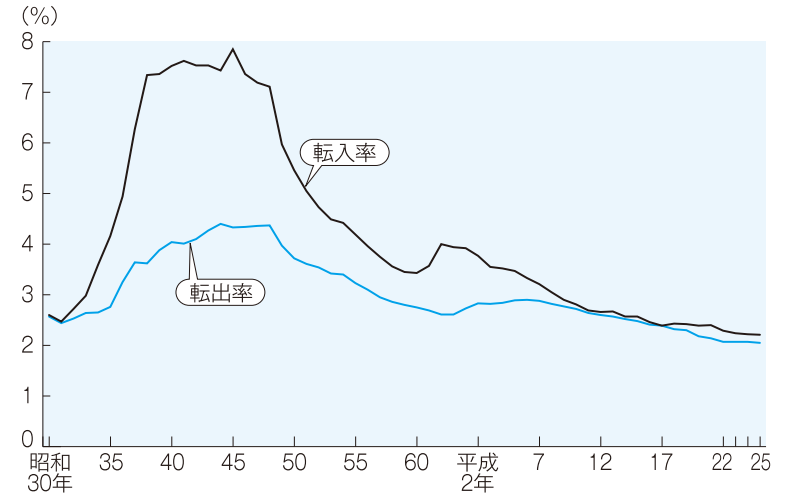


おしえてコバトン

# 10 転入・転出

# 転入率と転出率

単 位	* 1 他都道府県からの 転入者数		* 2 他都道府県への 転出者数		* 3 転入超過数		* 4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 301 895		2 301 895		-		-	
北海道	47 783	12	55 937	10	△ 8 154	47	△ 0.15	21
青森県	18 472	33	24 528	29	△ 6 056	45	△ 0.45	47
岩手県	18 529	32	20 960	34	△ 2 431	24	△ 0.19	25
宮城県	51 326	10	46 670	14	4 656	6	0.20	2
秋田県	11 943	41	16 538	39	△ 4 595	38	△ 0.44	46
山形県	13 498	38	17 579	37	△ 4 081	37	△ 0.36	44
福島県	25 768	23	30 968	18	△ 5 200	42	△ 0.27	41
茨城県	44 721	14	49 859	12	△ 5 138	41	△ 0.18	23
栃木県	30 820	15	32 283	15	△ 1 463	16	△ 0.07	12
群馬県	26 891	19	29 325	22	△ 2 434	25	△ 0.12	18
埼玉県	157 910	3	146 356	4	11 554	3	0.16	3
千葉県	136 645	5	134 203	5	2 442	8	0.04	7
東京都	407 711	1	337 539	1	70 172	1	0.54	1
神奈川県	207 670	2	195 314	2	12 356	2	0.14	4
新潟県	22 656	29	27 788	25	△ 5 132	40	△ 0.22	30
富山県	12 152	40	13 506	42	△ 1 354	15	△ 0.13	19
石川県	17 803	36	18 585	36	△ 782	12	△ 0.07	12
福井県	8 493	47	10 548	46	△ 2 055	22	△ 0.26	39
山梨県	12 399	39	14 720	40	△ 2 321	23	△ 0.28	42
長野県	26 482	21	29 172	23	△ 2 690	29	△ 0.13	19
岐阜県	25 930	22	30 742	19	△ 4 812	39	△ 0.24	36
静岡県	50 407	11	57 299	9	△ 6 892	46	△ 0.19	25
愛知県	111 461	6	103 570	6	7 891	4	0.11	6
三重県	26 747	20	29 973	20	△ 3 226	35	△ 0.18	23
滋賀県	25 699	24	25 842	28	△ 143	10	△ 0.01	10
京都府	53 307	9	55 280	11	△ 1 973	21	△ 0.08	14
大阪府	153 281	4	149 904	3	3 377	7	0.04	7
兵庫県	88 382	8	93 596	8	△ 5 214	43	△ 0.10	15
奈良県	24 501	26	27 282	26	△ 2 781	31	△ 0.20	28
和歌山県	11 900	42	14 405	41	△ 2 505	26	△ 0.26	39
鳥取県	8 791	46	10 474	47	△ 1 683	17	△ 0.29	43
島根県	10 340	43	11 687	43	△ 1 347	14	△ 0.19	25
岡山県	28 929	16	29 652	21	△ 723	11	△ 0.04	11
広島県	45 934	13	48 887	13	△ 2 953	32	△ 0.11	17
山口県	22 757	28	25 944	27	△ 3 187	34	△ 0.23	34
徳島県	9 942	44	11 636	44	△ 1 694	18	△ 0.22	30
香川県	18 072	34	19 070	35	△ 998	13	△ 0.10	15
愛媛県	17 895	35	21 043	33	△ 3 148	33	△ 0.23	34
高知県	9 665	45	11 445	45	△ 1 780	20	△ 0.24	36
福岡県	100 390	7	94 565	7	5 825	5	0.12	5
佐賀県	15 670	37	17 413	38	△ 1 743	19	△ 0.21	29
長崎県	22 933	27	28 825	24	△ 5 892	44	△ 0.42	45
熊本県	28 901	17	31 584	16	△ 2 683	28	△ 0.15	21
大分県	18 873	31	21 435	32	△ 2 562	27	△ 0.22	30
宮崎県	19 236	30	21 976	31	△ 2 740	30	△ 0.25	38
鹿児島県	27 763	18	31 502	17	△ 3 739	36	△ 0.22	30
沖縄県	24 517	25	24 486	30	31	9	0.00	9



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

### 転入超過数は全国第3位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成25年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は、前年よりも51人減少して、157,910人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く58,018人、次いで千葉県から13,642人、神奈川県から13,543人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より1,307人減少して146,356人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く57,913人、次いで神奈川県へ13,925人、千葉県へ12,964人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過となり、平成25年の転入超過数は11,554人で、東京都、神奈川県に次いで全国第3位でした。なお、転入超過率は0.16%で、全国第3位でした。

### ◆都道府県別人口動態(平成25年)◆

自然増加の大きい都道府県			
順位	自然増減数(人)	自然増減率(%)	
1	沖縄県 6,255	沖縄県 0.43	
2	愛知県 5,450	愛知県 0.07	
3	神奈川県 2,150	滋賀県 0.06	
4	滋賀県 917	神奈川県 0.02	
5	東京都 △149	東京都 △0.00	
6	埼玉県 △1,736	埼玉県 △0.02	

社会増加の大きい都道府県			
順位	社会増減数(人)	社会増減率(%)	
1	東京都 71,423	東京都 0.54	
2	埼玉県 14,721	宮城県 0.24	
3	神奈川県 8,636	埼玉県 0.20	
4	福岡県 8,139	福岡県 0.16	
5	宮城県 5,614	神奈川県 0.10	
6	愛知県 3,837	千葉県 0.06	

自然減少の大きい都道府県			
順位	自然増減数(人)	自然増減率(%)	
43	兵庫県 △8,694	島根県 △0.56	
44	福島県 △9,140	青森県 △0.58	
45	大阪府 △10,345	山形県 △0.59	
46	新潟県 △11,300	高知県 △0.65	
47	北海道 △21,180	秋田県 △0.80	

社会減少の大きい都道府県			
順位	社会増減数(人)	社会増減率(%)	
43	青森県 △6,027	福井県 △0.34	
44	兵庫県 △6,174	山形県 △0.37	
45	岐阜県 △6,621	長崎県 △0.38	
46	北海道 △8,123	秋田県 △0.43	
47	静岡県 △12,645	青森県 △0.44	

資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成26年1月1日現在)

資料出所 \*1~4「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成25年 調査周期 毎年

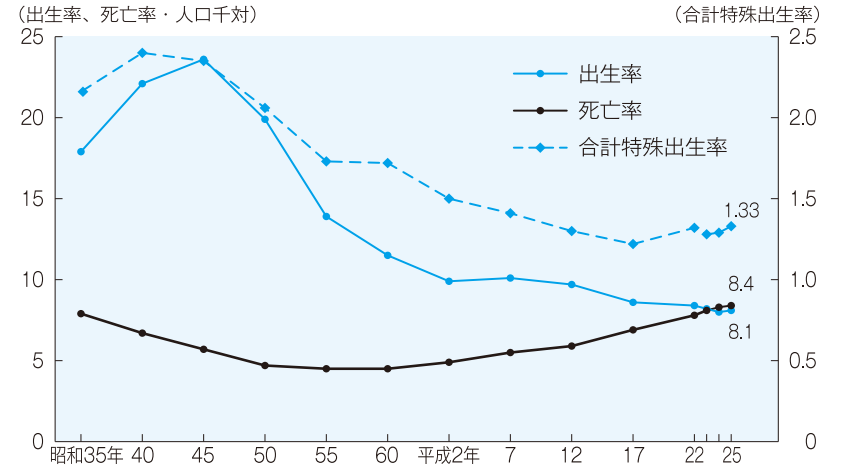
# 11 出生

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	出生数 人	順位	出生率 (人口千対)	順位	自然増減率 (人口千対)	順位	合計特殊出生率	順位
全 国	1 029 816		8.2		△ 1.9		1.43	
北海道	38 190	9	7.1	45	△ 3.9	32	1.28	45
青森県	9 126	35	6.8	46	△ 6.0	44	1.40	37
岩手県	9 231	34	7.2	43	△ 5.2	39	1.46	26
宮城県	18 949	14	8.2	22	△ 1.4	10	1.34	39
秋田県	6 177	43	5.9	47	△ 8.3	47	1.35	38
山形県	8 159	36	7.2	42	△ 6.0	45	1.47	25
福島県	14 546	24	7.5	35	△ 4.7	36	1.53	15
茨城県	22 358	12	7.7	31	△ 2.8	21	1.42	34
栃木県	15 588	21	7.9	25	△ 2.6	17	1.43	31
群馬県	14 732	22	7.6	34	△ 3.6	27	1.41	36
埼玉県	57 470	5	8.1	23	△ 0.4	6	1.33	41
千葉県	48 343	6	7.9	28	△ 0.9	8	1.33	40
東京都	109 986	1	8.5	10	△ 0.0	5	1.13	47
神奈川県	74 320	2	8.3	14	0.2	4	1.31	44
新潟県	17 066	16	7.4	39	△ 4.9	38	1.44	30
富山県	7 722	38	7.3	41	△ 4.5	35	1.43	33
石川県	9 449	33	8.2	20	△ 2.4	16	1.49	21
福井県	6 461	41	8.2	18	△ 2.9	25	1.60	8
山梨県	6 198	42	7.4	37	△ 3.9	30	1.44	29
長野県	16 326	17	7.8	30	△ 3.8	29	1.54	14
岐阜県	16 000	19	7.9	27	△ 2.7	19	1.45	28
静岡県	30 260	10	8.2	17	△ 2.2	14	1.53	17
愛知県	66 825	4	9.2	3	0.6	2	1.47	24
三重県	14 514	25	8.1	24	△ 2.9	24	1.49	20
滋賀県	13 015	26	9.3	2	0.6	3	1.53	16
京都府	20 106	13	7.8	29	△ 2.0	13	1.26	46
大阪府	72 054	3	8.3	15	△ 1.1	9	1.32	42
兵庫県	45 673	8	8.3	12	△ 1.6	11	1.42	35
奈良県	10 190	30	7.4	36	△ 2.8	22	1.31	43
和歌山県	7 122	40	7.3	40	△ 5.8	43	1.52	19
鳥取県	4 759	47	8.3	16	△ 4.4	34	1.62	7
島根県	5 534	45	7.9	26	△ 5.8	42	1.65	3
岡山県	16 210	18	8.5	11	△ 2.6	18	1.49	22
広島県	24 713	11	8.8	7	△ 1.7	12	1.57	11
山口県	10 705	28	7.6	33	△ 5.5	40	1.56	12
徳島県	5 666	44	7.4	38	△ 5.7	41	1.43	32
香川県	8 059	37	8.2	19	△ 3.5	26	1.59	10
愛媛県	10 696	29	7.7	32	△ 4.9	37	1.52	18
高知県	5 266	46	7.1	44	△ 6.7	46	1.47	23
福岡県	45 897	7	9.1	4	△ 0.7	7	1.45	27
佐賀県	7 276	39	8.7	9	△ 2.8	23	1.59	9
長崎県	11 566	27	8.3	13	△ 4.1	33	1.64	5
熊本県	15 954	20	8.9	5	△ 2.4	15	1.65	4
大分県	9 605	32	8.2	21	△ 3.6	28	1.56	13
宮崎県	9 854	31	8.8	6	△ 2.7	20	1.72	2
鹿児島県	14 637	23	8.7	8	△ 3.9	31	1.63	6
沖縄県	17 209	15	12.2	1	4.4	1	1.94	1

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成25年 毎年

# 出生率・死亡率及び合計特殊出生率



資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

## 出生数が7年ぶりに増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成25年の出生数は7年ぶりに増加して、前年より527人増加の57,470人(男29,418人、女28,052人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増加した年もありますが、全体として減少傾向にありました。

また、出生率は8.1で、前年を0.1ポイント上回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年頃から10.0前後で推移していました。しかし、平成13年以降は低下傾向が続き、平成25年は、平成18年に6年ぶりに上昇して以来、7年ぶりの上昇となりました。

## 合計特殊出生率は、2年連続で上昇

自然増減率は、戦後初めてマイナスに転じた前年よりさらに0.1ポイント低下して△0.4となり、全国第6位でした。合計特殊出生率は前年より0.04ポイント上昇し、1.33でした。

※表\*1~3の全国値は住所が外国の者・不詳を含みます。

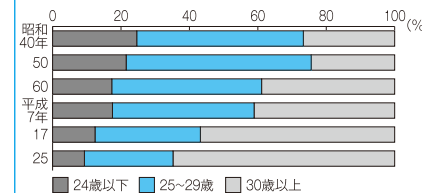
※表\*2~4の比率算出に用いた日本人人口は、平成25年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増減率 自然増減数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当します。

## ~母の年齢階級別出生割合~



母の年齢階級別に出生数の構成割合をみると、25~29歳の母からの出生は昭和50年の54.1%をピークに下落を続けており、平成25年は25.9%でした。また、24歳以下は平成5年以降減少傾向にあり、平成25年は9.3%でした。逆に、30歳以上は増加を続け、平成25年は64.8%でした。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



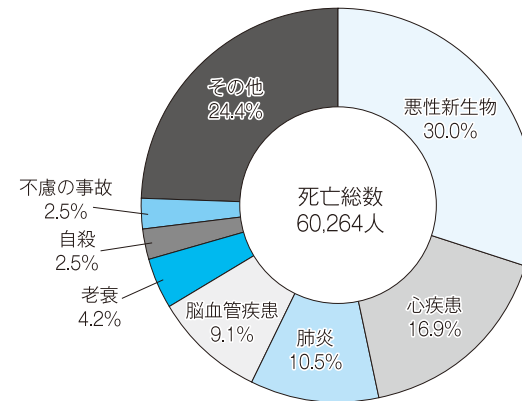
# 12 死亡

# 死因別死亡数構成比 (平成25年)

単 位	* 1 死亡数 (総数)		* 2 死亡率 (人口千対)		* 3 死亡数 (悪性新生物)		* 4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 268 436		10.1		364 872		196 723	
北海道	59 432	6	11.0	27	18 453	5	9 496	6
青森県	17 112	28	12.8	8	4 928	26	2 649	29
岩手県	15 969	29	12.4	13	4 296	29	2 731	27
宮城県	22 214	17	9.6	39	6 498	15	3 330	21
秋田県	14 824	31	14.2	1	4 113	31	2 172	34
山形県	15 029	30	13.2	4	4 015	32	2 325	31
福島県	23 611	16	12.2	15	6 116	17	4 193	13
茨城県	30 368	11	10.5	32	8 425	11	4 755	12
栃木県	20 591	22	10.5	31	5 628	20	3 339	18
群馬県	21 661	18	11.1	25	5 932	19	3 338	19
埼玉県	60 264	5	8.4	45	18 100	6	10 186	4
千葉県	53 603	8	8.8	41	16 035	8	9 660	5
東京都	110 507	1	8.5	44	33 349	1	16 664	1
神奈川県	72 970	3	8.1	46	22 509	3	10 623	3
新潟県	28 383	13	12.2	14	7 876	13	4 068	15
富山県	12 547	36	11.8	17	3 517	36	1 659	40
石川県	12 223	38	10.6	30	3 416	38	1 934	38
福井県	8 764	46	11.2	24	2 324	46	1 433	43
山梨県	9 441	45	11.3	22	2 495	44	1 276	46
長野県	24 303	15	11.6	19	6 150	16	3 780	16
岐阜県	21 518	19	10.7	29	6 033	18	3 507	17
静岡県	38 393	10	10.5	33	10 511	10	5 547	10
愛知県	62 395	4	8.6	43	18 491	4	8 373	7
三重県	19 690	24	10.9	28	5 229	24	2 936	26
滋賀県	12 233	37	8.8	42	3 554	34	2 032	36
京都府	25 332	14	9.8	37	7 649	14	4 129	14
大阪府	81 864	2	9.4	40	25 528	2	13 053	2
兵庫県	54 366	7	9.9	36	16 288	7	8 345	8
奈良県	14 029	32	10.2	35	4 162	30	2 557	30
和歌山県	12 773	35	13.1	6	3 451	37	2 304	32
鳥取県	7 270	47	12.7	9	2 025	47	1 096	47
島根県	9 572	44	13.7	3	2 562	42	1 370	44
岡山県	21 199	20	11.1	26	5 560	21	3 257	23
広島県	29 358	12	10.5	34	8 212	12	4 884	11
山口県	18 459	25	13.1	5	5 007	25	3 043	25
徳島県	10 014	42	13.1	7	2 482	45	1 503	42
香川県	11 512	39	11.8	18	3 055	39	1 947	37
愛媛県	17 480	26	12.5	11	4 440	28	3 335	20
高知県	10 244	41	13.8	2	2 537	43	1 820	39
福岡県	49 456	9	9.8	38	15 187	9	5 726	9
佐賀県	9 640	43	11.5	21	2 758	41	1 352	45
長崎県	17 225	27	12.4	12	4 925	27	2 683	28
熊本県	20 237	23	11.3	23	5 269	23	3 277	22
大分県	13 874	33	11.9	16	3 592	33	2 036	35
宮崎県	12 906	34	11.6	20	3 526	35	2 205	33
鹿児島県	21 162	21	12.6	10	5 471	22	3 111	24
沖縄県	10 956	40	7.8	47	3 001	40	1 518	41

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 平成25年 調査周期 毎年



資料：「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP  
「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

### 死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成25年の死亡数は前年より1,127人増加して、60,264人(男性32,859人、女性27,405人)で全国第5位でした。死亡率は前年より0.1ポイント増加して8.4でした。死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続くが、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じました。

### 死因第1位は悪性新生物、第2位心疾患、第3位肺炎で変わらず

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が18,100人(死亡総数の30.0%)と最も多く、次いで心疾患10,186人(同16.9%)、肺炎6,309人(同10.5%)、脳血管疾患5,472人(同9.1%)、老衰2,548人(同4.2%)、自殺1,486人(同2.5%)、不慮の事故1,481人(同2.5%)の順でした。

また、年齢階級別に死因別割合をみると、10~30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなっています。

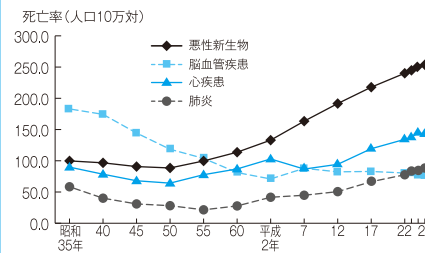
※表\*1~4の全国値は住所が外国・不詳の者を含みます。

※表\*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成25年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

### ~主要死因別死亡率の推移~



死因別に死亡率(人口10万対)の推移をみると、悪性新生物は昭和56年以降死因順位第1位となり、上昇を続けています。心疾患は、昭和60年に第2位となり、その後緩やかな上昇を続けています。脳血管疾患は、昭和36年をピークに低下し、平成23年には肺炎にかわり第4位となっています。

注)平成7年の心疾患及び脳血管疾患の著しい変動は、死亡傾向が急激に変化したものではなく、死亡分類及び死亡診断書の改正によるものと考えられる。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



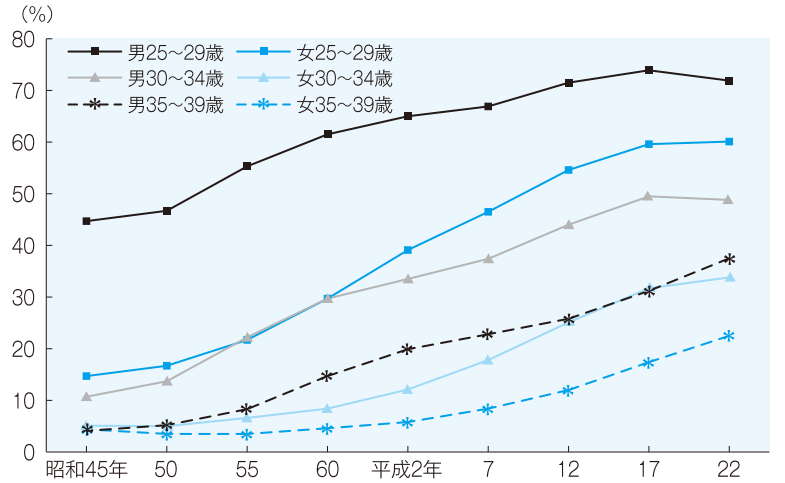
# 13 婚姻・離婚

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		平均初婚年齢(夫)		平均初婚年齢(妻)	
	—	順位	—	順位	歳	順位	歳	順位
全 国	5.3		1.84		30.9		29.3	
北海道	4.9	24	2.09	2	30.4	30	29.1	12
青森県	4.3	43	1.75	29	30.5	22	28.8	32
岩手県	4.2	45	1.55	41	30.3	34	28.6	41
宮城県	5.2	9	1.80	23	30.7	11	29.0	15
秋田県	3.7	47	1.42	46	30.7	11	28.8	32
山形県	4.2	46	1.47	44	30.5	22	28.8	32
福島県	4.7	33	1.67	34	29.8	47	28.2	47
茨城県	4.9	18	1.74	30	30.7	11	28.9	20
栃木県	5.2	8	1.85	13	30.7	11	28.9	20
群馬県	4.6	35	1.80	22	30.6	19	28.9	20
埼玉県	5.1	12	1.84	15	31.3	3	29.4	4
千葉県	5.1	11	1.85	14	31.3	3	29.4	4
東京都	6.8	1	1.92	8	32.2	1	30.4	1
神奈川県	5.6	6	1.85	12	31.7	2	29.9	2
新潟県	4.3	42	1.41	47	30.6	19	28.9	20
富山県	4.4	40	1.47	45	30.5	22	29.1	12
石川県	4.6	34	1.58	40	30.5	22	29.0	15
福井県	4.8	25	1.51	42	30.4	30	28.7	38
山梨県	4.7	28	1.76	28	30.8	7	29.1	12
長野県	4.7	27	1.63	38	31.2	6	29.3	7
岐阜県	4.7	32	1.60	39	30.7	11	28.8	32
静岡県	5.0	16	1.84	17	30.8	7	29.0	15
愛知県	5.8	3	1.79	24	30.7	11	28.8	32
三重県	4.9	21	1.82	19	30.5	22	28.7	38
滋賀県	5.3	7	1.67	35	30.5	22	28.9	20
京都府	4.9	19	1.78	27	31.3	3	29.6	3
大阪府	5.6	4	2.08	3	30.8	7	29.4	4
兵庫県	5.1	13	1.83	18	30.7	11	29.2	10
奈良県	4.5	39	1.65	37	30.8	7	29.3	7
和歌山県	4.7	30	2.01	6	30.2	36	28.6	41
鳥取県	4.7	29	1.71	32	30.7	11	28.9	20
島根県	4.3	44	1.50	43	30.5	22	29.0	15
岡山県	5.0	15	1.79	26	30.1	40	28.6	41
広島県	5.2	10	1.81	21	30.4	30	28.9	20
山口県	4.6	36	1.79	25	30.0	44	28.6	41
徳島県	4.5	38	1.67	36	30.2	36	28.9	20
香川県	4.9	20	1.81	20	30.4	30	28.9	20
愛媛県	4.6	37	1.84	16	30.1	40	28.6	41
高知県	4.4	41	1.94	7	30.6	19	29.3	7
福岡県	5.6	5	2.04	5	30.5	22	29.2	10
佐賀県	4.8	26	1.72	31	30.0	44	28.6	41
長崎県	4.7	31	1.70	33	30.2	36	29.0	15
熊本県	5.0	17	1.86	11	30.1	40	28.8	32
大分県	4.9	22	1.86	10	30.2	36	28.9	20
宮崎県	5.1	14	2.08	4	30.0	44	28.7	38
鹿児島県	4.9	23	1.87	9	30.3	34	28.9	20
沖縄県	6.3	2	2.59	1	30.1	40	28.9	20

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成25年 毎年

## 年齢階級別未婚率(各年10月1日現在)



資料:「国勢調査」総務省統計局HP

### 婚姻率が再び低下

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成25年の婚姻件数は、前年より497件減少して36,279件で、婚姻率は前年より0.1ポイント低下して5.1でした。

また、離婚件数は、前年より296件減少して13,138件で、離婚率は前年より0.05ポイント低下して1.84でした。

### 25~34歳の男性の未婚率が低下に転じる

平成25年の平均初婚年齢は、夫が31.3歳、妻が29.4歳で、前年と同じでした。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の未婚率は、25~29歳では男性71.9%、女性60.1%で、前回調査(平成17年)より男性は2.0ポイント低下したのに対し、女性は0.5ポイント上昇しました。

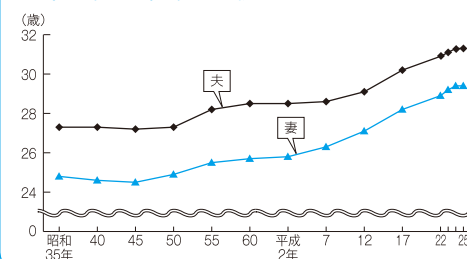
また、30~34歳では男性48.8%、女性33.8%で、前回調査より男性は0.7ポイント低下したのに対し、女性は2.1ポイント上昇しました。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人口×1,000

※日本人口は、平成25年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者(結婚したことのない人)数÷当該年齢(年代)の総人口×100

### ~平均初婚年齢の推移~



本県の平成25年の平均初婚年齢は夫31.3歳、妻29.4歳で、前年と同じでした。昭和35年と比べて夫は4.0歳、妻は4.6歳上昇しています。

資料:「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



おしえてコバトン

## ◆国勢調査による年齢3区分別人口の推移◆

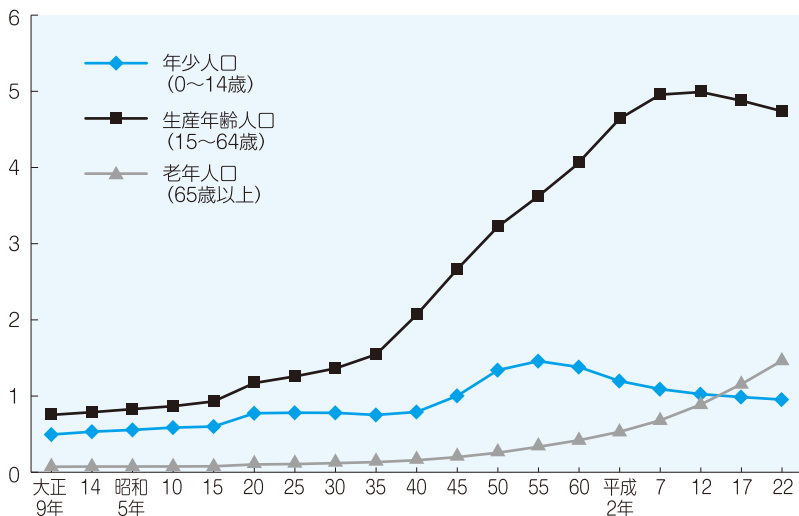
年次	世帯数	人口(人)			
		総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
大正 9年	237 949	1 319 533	494 776	752 892	71 865
14	253 261	1 394 461	532 213	787 869	74 379
昭和 5年	265 465	1 459 172	555 794	828 399	74 979
10	277 548	1 528 854	586 089	867 178	75 587
15	290 509	1 607 927	599 800	929 905	78 220
20	...	2 047 261	774 175	1 170 912	102 174
25	398 779	2 146 445	781 127	1 257 941	107 205
30	423 902	2 262 623	779 877	1 362 837	119 900
35	492 731	2 430 871	752 024	1 545 841	133 006
40	696 821	3 014 983	790 961	2 066 337	157 685
45	993 079	3 866 472	1 002 863	2 665 020	198 589
50	1 323 713	4 821 340	1 340 136	3 223 138	256 014
55	1 584 655	5 420 480	1 458 421	3 624 550	333 874
60	1 751 372	5 863 678	1 380 180	4 060 573	420 099
平成 2年	2 044 234	6 405 319	1 196 946	4 660 202	530 539
7	2 289 138	6 759 311	1 090 395	4 976 945	681 172
12	2 482 374	6 938 006	1 024 787	5 011 202	889 243
17	2 650 115	7 054 243	986 361	4 892 253	1 157 006
22	2 841 595	7 194 556	953 668	4 749 108	1 464 860

資料：「国勢調査」総務省統計局HP(各年10月1日現在、昭和20年は11月1日現在)

注)1 人口の総数には、年齢「不詳」を含む年があります。

2 昭和20年は、人口調査による数値です。

(百万人)



平成22年の世帯数と人口を大正9年(90年前)と比べてみると、世帯数は11.9倍、人口は5.5倍になっています。

また、上の表の年齢3区分別人口をそれぞれ折れ線グラフ化したものが、下のグラフです。年少人口は、昭和55年をピークに減少に転じ、平成17年には3区分の中で最少となりました。

生産年齢人口も、平成12年をピークに減少し始めました。逆に老年人口は緩やかに増加していたものが、平成に入り急増し、ついに平成17年に年少人口を逆転しました。少子高齢化が急速に進んでいるのが、グラフからはっきりわかります。